

## 資料3

西東京市公民館運営審議会  
令和4年度第10回定例会

## 令和4年度 公民館主催事業報告書

公運審提出日 令和5年3月15日

	実施館	事業名	期間・回数	参加者数	実施内容	主な講師等
1	田無	現代的課題を考える講座 地域から“孤立”をなくすシン ト5 ～ひきこもり当事者と家族の対 話の可能性をひらく～	9月18日 10月2日 10月16日 日曜日 14時から16時 全3回	延べ87人	ひきこもりの問題の解決策を模索するた めに、下記の①～③の内容について参加 者と共に学び合い、語り合った。 ①ひきこもり当事者の父親が遺した日記 から「語られなかった親子の対話」をひ も解く ②否定や説教ではなく「本音で語りあ う親子の対話」を疑似体験し関係改善を模 索する。 ③「安心・安全で尊重のある対話」を オープンダイアログ」の手法から体験 的に学ぶ。	森田智子（NHKディレク ター、E TV特集「空蟬の 家」（2021）等担当、不登校 経験者） ぼそっと池井多（「ひきこも り親子クロストーク」主宰、 ひきこもり経験者） ドラマキャスト 鈴木 剛（精神保健福祉士、社 会福祉士、「オンリーワンク ルー」主宰） ファシリテーター
2	谷戸	農業を知る講座	7月26日から 12月27日 2月14日 火曜日 8時30分から10時 または 9時から11時 または 10時から12時 全23回	延べ729人	農業実習、講義（環境から見た農業、都 市農業の新しい展開、西東京市の農業振 興への取り組みについて） 農作業と収穫体験、農業の基礎知識を学 ぶことで、農業と野菜作りの大変さを実 感した。 農作業日誌、各種アンケートと講師の資 料を含めた『記録集』を作成し、参加者 同士共有し、理解を深めた。	保谷隆司（市内農業経営者） 小野紀之（環境カウンセラー、 一般社団法人地域パートナ シップ支援センター理事長） 西東京市産業振興課職員

3	谷戸	女性のための講座（保育付き） これだけは知っておきたい！ 身近な世界を知る講座	令和4年9月22日から 令和5年1月26日 木曜日 10時から11時45分 全14回	延べ161人	ジェンダー平等が平和の基本であることを講座の柱にし、ウクライナの難民支援、ミャンマーの国民の置かれている困難を、実際に支援活動をしている講師からの話を聞くことで、より身近な問題として考える機会とした。深く学ぶ機会の少ないパレスチナの問題を取り上げ、さらにエッセイを通して平和についての思いを深めた。	新井浩子（早稲田大学文学学術院講師） 中坪央暁、石原厚子（難民を助ける会） 甲野綾子（NGOソシア代表） 後藤絵美（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所助教） ナンミャケーカイン（京都精華大学国際文化学部准教授）
4	谷戸	インクルーシブな社会をめざす講座 ボッチャでなかまづくり	11月19日から 12月17日 土曜日 14時から16時 12月11日 日曜日 9時30分から12時 全5回	延べ101人	ボッチャに興味を持ち、集まった地域の人たちが、ともにボッチャを学び、今後自分たちでボッチャを続けていかれるように、地域におけるなかまづくりをめざした。	渡辺文子（西東京市スポーツ推進委員、障がい者スポーツ指導員）
5	ひばりが丘	子育て中の女性のための講座（保育付き） わが子を守る災害への備え ～はじめの一步～	令和4年10月14日から 令和5年2月13日 金曜日 10時から11時45分 全13回	延べ104人	防災カードゲーム教材をグループでやることで互いに話し合い、意見を出し合うことのハードルを下げ、講座内容をトイレ・水と食べ物の備えなど生活に直結する内容にして、積極的な意見が出せるような場づくりを行った。	小野修平（ジョージ防災研究所代表、防災アドバイザー） 藤井宥貴子（熊本市男女平等センター所長） 小林由枝（佐賀県武雄市よりみちステーション代表） 村田美智子（整理収納アドバイザー）
6	ひばりが丘	高齢者の課題を考える講座 このまちでともに暮らそう ～いくつになっても・認知症になっても～	11月22日 11月29日 12月6日 火曜日 14時から16時 全3回	延べ40人	認知症に関する新しい研究成果や取り組みの事例を学び、ネガティブなイメージを払拭した。グループワークでは、老いることの不安を率直に話し合い共感しつつ、前向きにとらえ直して行動に移すアイデアを出し合うことができた。	永田久美子（認知症介護研究・研修東京センター） 山崎 巖（演出家） ゲストスピーカー 緑町地域包括支援センター職員 西東京市社会福祉協議会職員

7	ひばりが丘	防災講座 マンションで首都直下地震を乗り越える	1月14日 1月28日 2月11日 土曜日 10時から12時 全3回	延べ50人	災害時にマンションなどの集合住宅で必要となる活動を近隣マンションの取組事例から学び、平時から備えておくべきことをグループワークを通じて一緒に考えた。	小野修平（ジョージ防災研究所代表、防災アドバイザー） フォレストレイクひばりが丘管理組合防災委員会 グランジオ武蔵野管理組合
8	ひばりが丘	子どもの課題を考える講座 お子さんにあった「進路」とは～学校生活が苦手な子どもの進路を考える～ 【「西東京市不登校情報ネットワーク ハートラインにしようきょう」との共催事業】	1月22日 日曜日 13時から16時	36人 (会場28人 オンライン8人)	学校生活が苦手な子どもが社会での自立を目指すためにどのように進路を考えたらよいか、高校進学を中心に具体的な事例や情報から選択できる指針とした。また、交流会を通して悩んでいる親や子どもをサポートする場が地域にあることを知ってもらえる機会となった。	守矢俊一（NPO法人まほろび理事長）
9	保谷駅前	地域講座 瞽女唄が聞こえる	3月2日 木曜日 ①11時から12時 ②14時から16時 2回	延べ45人	高橋家屋敷林保存会と共催し下保谷四丁目特別緑地保全地区「高橋家母屋」で実施。参加者が地域にこのような施設があることを知る機会とする。また、保谷市史編纂委員会が編集出版した「下保谷の民俗」の中に「毎年3月頃になると大泉出身の瞽女が弟子を連れて下保谷に来ていた」という記述がある。その歴史の追体験として、誰もが学べる学習機会の提供として実施。	小関敦子（越後瞽女唄伝承者、2019年映画「瞽女GOZE」に瞽女唄指導で参加、萱森直子に師事、同師主宰「さずきもんの会」所属）